

散等を含む「7 大基本要素」を与党に突きつけた⁶⁸⁾。ゴランの非現実的な要求に対する与党側の対応は素早く、翌日、バルザーニーは、18 政党の代表との緊急会合で「いかなる変革、改革の呼びかけも法的なチャンネルを通じ行われるべきで、地域の安全を損ねるような手法を拒否する」との共同声明を出して与党の結束を誇示した⁶⁹⁾。サーレハは「ゴランの要求は地域の民主主義の実験に対する深刻な脅威」、「エジプトの人々は正義、自由を欲し、民主主義の実現を要求していると言えるが、イラク、特にクルディスタン地域の状況は他国と異なる」と反論した⁷⁰⁾。野党の KIU と KIG すら議会解散に反対し、ゴランの急進的な改革姿勢は他党の輦蹙を買った⁷¹⁾。

1 月 30 日、ナウシルワーンは、衛星放送 KNN に出演し、「ゴランは暴力に訴えない、与党こそ多数決の名の下にゴランの言論に一片の余地も与えようとするしないのである、チェニジアとクルディスタン地域を比べると、腐敗、一党支配、失業、低い生活水準、不正な選挙が同じ」と主張した。KRG は即座に反論声明を出して影響を抑えようとした。⁷²⁾

エジプト大統領辞任から 1 週間後の 2 月 17 日にスレイマーニーヤでも生活改善、腐敗追放、政治改革等を求める数百人規模の平和的デモが行われた。しかし、デモ隊の一部が、二大政党の事務所へ移動して投石を始めると、KDP 事務所を警備する治安部隊がデモ隊に発砲、2 名が死亡、数十名が負傷した。⁷³⁾ 同日、KRG はエルビルの KDP 系ペシュメルガ部隊を事態収拾のためスレイマーニーヤに急派した。19 日、外遊中のバルザーニーは発砲事件の調査を命じ、サーレハは県議会選日程についての協議を理由に各党派に緊急協議を申し入れ、事態の収拾に努めた。しかし、20 日、スレイマーニーヤ大学内で学生約 2000 人が事件について KRG 大統領の謝罪を求めて集まり、スレイマーニーヤ市中心部の自由広場サライ・アーザーディーでも市民約 1000 人が

68) *‘Aṣwāt al-‘Irāq*, 29 January 2011.

69) *‘Aṣwāt al-‘Irāq*, 30 January 2011; *Al-Sharq al-Awsat*, 31 January 2011.

70) *‘Aṣwāt al-‘Irāq*, 31 January 2011.

71) *Al-Madā*, 5 February 2011.

72) *PUK media*, 30 January 2011; *Al-Sharq Al-Awsat*, 1 February 2011.

73) *Washington Post*, 18 February 2011; *Aṣwāt al-‘Irāq*, 18 February 2011.

抗議デモを行い、同広場で座り込みを始めた⁷⁴⁾。

デモ発生後、ゴランの KBA 脱退以来となる与野党間の対話が再開された。2月21日、サーレハ、ネチルヴァン、タウフィーク (Muhammad Tawfiq) ゴラン広報官らが出席した5者会合がエルビルで開催されたが、具体的な成果は出なかった。23日、議会の緊急会合が開かれ、「クルディスタン地域情勢に関する17項目決議」⁷⁵⁾を全会一致で可決した。翌日、決議に沿ってデモ隊の要求に対応する特別委員会が議会に設置された。特別委員会は、KIGが委員長を出し、クルド同盟とゴランが同数の2名ずつ、諸派5名という与野党対等の異例の構成となった。

デモ隊対応特別委員会には、治安回復、エルビルから派遣されたペシュメルガ部隊の撤退、デモ参加者を殺害した者の訴追、生活改善等の要求がデモ隊から出され、サーレハは3月14日、デモ隊の要求を支持する旨の書簡を出した⁷⁶⁾。3月に入り、3野党は治安関係閣僚の交替、示威行動・集会法の改正、腐敗対策法制定等を含む「22点改革案」をKRGに提示した⁷⁷⁾。外遊から戻ったバルザーニーは、早期選挙実施の可能性を検討するようKRGと議会に呼びかけた⁷⁸⁾。9日、サーレハは、17項目決議に従って、議会での質疑に応じた。質疑終了後、議会はサーレハへの不信任案を反対67賛成28で否決した。KRG首相の不信任案が投票にかけられるのは初めてであり、野党にとっても想像を超えた出来事であった。

事件発生直後、ゴランのタウフィーク広報官は、ゴランがデモに参加する意図はないと事前に宣言していた、事態の沈静化のためPUKと連絡を取り合っていると述べて、デモとの関係を否定した。ナウシルワーンもデモ隊による政府機関や政党事務所への襲撃を拒否すると非暴力路線を強調し、デモと一線を画そうとした。⁷⁹⁾ KDP事務所襲撃への組織的関与を認めれば、KDPの報復対象となりかねないため、この対応は当然であろう。ゴランがデモの背後にいたとも思えない。生活改善等2月

74) *Al-'Arabīya*, 19 February 2011.

75) *IKP website*, 24 February 2011.

76) *Peyamner News Agency*, 14 March 2011.

77) *KurdIU Org*, 5 March 2011.

78) *BBC Arabic*, 3 March 2011.

79) *'Aṣwāt Al-'Irāq*, 17 February 2011.

のデモ隊の要求とゴランの急進的な 7 大基本要件は必ずしも一致していない。4 月 5 日になって、デモ隊の要求に政権辞職が加わり、初めてデモ隊とゴランの要求が一致した。同日、野党も改めて KRG 解散と与野党が参加する暫定政府の樹立を求める最後通牒を出した⁸⁰⁾。ゴランは、3 野党党首会談で KRG 総辞職と議会解散要求のラインで 3 野党の足並みを揃えることに成功した。

4 月 7 日、二大政党は党首会談を行い、その後野党の最後通牒を拒否するとのも共同声明を出した。与党は 10 日にペシュメルガ問題相の喚問に応じ、不信任案を否決した。19 日にも KRG 内相の喚問に応じた。この時議長の質疑打ち切り動議に対し、与野党議員が議場でペットボトルを投げあう騒ぎが起きた⁸¹⁾。KRG 内相の不信任案も否決されると、野党は審議拒否戦術をとり、この間与党は NGO 法、倫理委員会法、治安評議会法、アサーイシュ庁法といった重要法案を次々と成立させた。4 月 18 日、治安部隊とデモ隊が衝突し、80 名の負傷者を出した。25 日、KRG は、数千人の兵士を投入してデモ隊の強制排除に成功した⁸²⁾。5 月 4 日、バルザーニーは、与野党間の政治対話を再度呼びかけ、対話が再開された。

おわりに

本稿ではまず KRG が二大政党の均衡を前提として独裁的な強者を生まないように形成され、戦略合意によるポスト配分を通じ、二大政党間の均衡を維持することで、政治の安定をある程度実現している点を確認した。一方、二大政党の支配が雇用、進学、ビジネス等社会の様々な分野に及び、二大政党とのコネを持たない者には何ら恩恵が及ばないという現実に対する不満の受け皿として、政党による行政機構・軍事・治安組織への干渉を排する党政分離⁸³⁾を唱えるゴラン運動が登場し、過

80) *Aṣwāt Al-ʿIrāq*, 5 March 2011.

81) *Al-Sharq Al-Awsat*, 21 April 2011.

82) *Reuters*, 29 April 2011.

83) 党政分離の主張は、ゴランがこれまでに発表した政策文書の他、ナウシルワーンの結党時の発言にも見られる。*Al-Sharq al-Awsat*, 11 April 2009.

去 2 回の選挙を通じて二大政党が同数の議席を持ち続けるという戦略合意の前提を突き崩した点を見た。二大政党支配は、今年 2 月のたった 1 日のデモで大きく揺さぶられた。2 月のデモを契機とする現在進行中の与野党間対話を「クルドの春」と呼ぶのは時期尚早であろうが、今年 3 月に KRG が政党系 NGO・メディアへの助成金廃止、政党による公有財産の占有禁止の閣議決定等党政分離に一定の進展が見られた⁸⁴⁾。また、与党は従来以上に国民感情に配慮し、5 月 31 日、KRG 大統領、議会議長等公務員特別職の給与一割削減、住民向けサービス事業拡大のための経常経費一割削減、学生向け失業対策予算計上を盛り込んだ新年度予算を成立させた⁸⁵⁾。

今後のクルディスタン地域政治を見る上で当面ポイントとなるのは、(1) 2009 年に就任したサーレハ KRG 首相の任期延長⁸⁶⁾、(2) 現在も続いている与野党の対話が県評議会選挙の実施と非拘束名簿式代表比例制への選挙制度改革に合意できるかであろう⁸⁷⁾。長期的には、戦略合意は内戦の相互不信を克服するための方便であったとはいえ、時代にそぐわなくなっている。KRG、特に軍事・治安組織の統一実現による戦略合意の発展的解消が二大政党の課題であろう。ゴランは、デモ再発の恐怖をバックに改革を進めることにいつかは限界が来るのではないか。現在の危機に際して、武力をもつ二大政党がどこまで自制できるか、内戦の歴史を繰り返さずに対話をもって対応できるかが問われている。ゴランは武力を持たないが決して弱者ではない。したたかにメディア、世論、デモを利用し、闘っている。これは KRG が一定の自由を認めているからこそできることでもある。2 月のデモを経て、ゴランが既存の体制の全否定ではなく、野党として改革に建設的に貢献することができるかどうか今後の同地域の安定の鍵となろう。

84) 4 月 10 日、PUK 系 NGO が占有していた建物を政府に返還した。*Al-Sharq Al-Awsat*, 16 March, 31 March, 11 April 2011. 同地域では市民団体の 5%が独立しており、それ以外の団体は政党や KRG 内務省から財政援助を受けている。Natali, *op. cit.*, p.116.

85) *Kurdish Globe*, 21 May 2011; *IKP website*, 24-26 and 29-31 May 2011.

86) 戦略合意通りなら今夏に任期満了となるが、バルザーニーはサーレハ続投がまだ決まっていないとしている。*Kurdish Globe*, 11 June 2011.

87) 3 月 29 日の閣議決定で今年 9 月に 6 年以上行われていなかった県評議会選挙を行うことになっていたが、来年 2 月に延期された。10 月 3 日、県議会法の改正法案の審議が議会で始まっており、非拘束名簿式の導入が提出された原案に含まれている。

表 過去2回の選挙でのクルディスタン地域での各党派得票数
(2009年7月・2010年3月)

| 政党連合 | 年 | 投票地 | | | 合計 | 議席数 *2 |
|-------|------|---------------|---------------|---------------|----------------|-----------|
| | | エルビル県 | ドホーク県 | スレイマニーヤ県 | | |
| クルド同盟 | 2009 | 438968(65.9%) | 346720(80.8%) | 284809(36.7%) | 1070497(57.2%) | 59 |
| | 2010 | 458403(66.8%) | 332951(76.1%) | 350283(41.9%) | 1141637(58.3%) | 27(16) |
| ゴラン | 2009 | 114740(17.2%) | 14794(3.4%) | 315320(40.7%) | 444854(23.8%) | 25 |
| | 2010 | 103397(15.1%) | 23775(5.4%) | 298621(35.7%) | 425793(21.7%) | 8(0) |
| 奉仕と改革 | 2009 | 69113(10.4%) | 42832(10%) | 128793(16.6%) | 240738(12.9%) | 13 |
| KIU | 2010 | 51065(7.4%) | 59969(13.7%) | 105188(12.6%) | 216222(11%) | 4(0) |
| KIG | 2010 | 62706(9.1%) | 3141(0.7%) | 79149(9.5%) | 144996(7.4%) | 2(0) |
| 諸派*1 | 2009 | 42946(6.5%) | 24790(5.8%) | 46112(5.9%) | 113848(6.1%) | 14 |
| | 2010 | 10304(1.5%) | 17550(4.0%) | 3215(0.4%) | 31069(1.6%) | 0(268) |
| 合計 | 2009 | 665767(100%) | 429136(100%) | 775034(100%) | 1869937(100%) | 111 |
| | 2010 | 685875(100%) | 437386(100%) | 836456(100%) | 1959717(100%) | 41(16) |

*1 2009年は、IMK2議席、左派社会正義自由リスト1議席、少数派枠11議席。2010年はシリア派イラク国民連合等が候補者を立てたが、獲得議席は0だった。

*2 ()内はクルディスタン地域外での獲得議席数。

【出典】IHECウェブサイト <http://www.ihec.iq> (2011年3月10日閲覧) より筆者作成。

(筆者は国際科学協力室外務事務官)